

## 「産学官連携による次世代型畜産研究実証事業の実施に関する協定」の締結について ～ミヤリサン製薬株式会社，徳島大学，徳島県～

農業分野の「知」と「技」の集積拠点であるアグリサイエンスゾーン（石井町）において、ミヤリサン製薬株式会社が整備する「動物福祉対応型実証豚舎施設」を活用し、ミヤリサン製薬株式会社、徳島大学及び徳島県の産学官連携のもと、本県畜産業の成長産業化に向けた取組みを加速するため、次のとおり協定を締結しました。

### 1 協定の目的

「動物福祉対応型実証豚舎施設」を活用し、アニマルウェルフェア（動物福祉）に配慮した次世代型畜産業の研究・実証を行い、生産性の高い新たな畜産経営のモデルを構築することにより、本県畜産業の成長産業化及び関連産業の振興を図る。

### 2 連携・協力事項

- 畜産業の生産性を向上させる新技術及び飼育システムの開発、普及に関すること。
- 次世代の畜産業や6次産業を担う実践力の高い人材の育成に関すること。

### 3 協定締結日

令和元年6月5日（水）

### 4 有効期間

令和元年6月5日から令和6年3月31日まで。以降2年ごとの更新

### 5 締結者

ミヤリサン製薬株式会社	代表取締役社長	内田 正行
国立大学法人徳島大学	学 長	野地 澄晴
徳 島 県	知 事	飯泉 嘉門